

不当処分粉碎へ！

全支部で総決起 体制をうち固める！

日刊 動労千葉

80.5.17

NO. 430

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八一九(公衆電話五三二七二〇七)



不当処分粉碎、「津田沼特別班」解体。組織強化へ向けて、動労千葉の総決起体制は着々と強化されている。五・一支部代表者会議で、「本部」反動分子による四・一五津田沼支部への暴力スト破り襲撃を口実とする動労千葉への不当処分策動を断固粉碎してゆくことを確認した。各支部は、直ちに総決起へ向けた行動を開始したのだ。



全支部でかちとられた職場集会

「日刊動労千葉」ですでに報告された津田沼、新小岩、幕張、佐倉各支部に続いて、全支部で不当処分粉碎へ向けた意志統一職場集会が続々とかちとられている。

五月十二日 蘇 我支部 (四十名)

佐 倉支部 (五十名)

千葉転支部 (四十五名)

五月十三日 勝 浦支部 (五十名)

館 山支部 (四十名)

五月十四日 木更津支部 (三十五名)

五月十六日 成 田支部 (七十名)

という形で開催された職場集会では、それぞれの支部で、この一年余の「本部」反動分子との闘いの中で、培ってきた団結力の全てをかけて、この理不尽な処分攻撃に組織破壊攻撃を粉碎してゆく決意が打ち固められ、個別オルグも含めて、総決起体制は着々と強化されている。

そして、職場集会での確認と決意に踏まえた現場協議・集団交渉の中で、不当労働行為としか言えないような選別的な不当処分が強行されたならば、直ちに、あらゆる戦術を駆使した闘いに泥沼化も辞さず突入すること、その結果起る混乱の全ての責任は権力・国鉄当局にあること、が突きつけられている。

生産点からの決起に恐怖する現場当局

公示を前に、いよいよ追い込みに入った参院選の取り組みを各地区・赤桐操、全国区・かすや照美必勝へ向けて各地区選対の中で積極的に取り組み、五・一五組合費請求訴訟へ百名の動員をもって整然かつ毅然と取り組み、青年部は五・一一一二に約百名を結集した全支部活動者会議をもって最先頭で闘う体制を打ち固め、さらには、結成

を起爆点に、断固たる闘いを展開してゆく。各支部の闘う体制は万全に打ち固められている。「五・一七、動労千葉結成一周年集会」の圧倒的高揚と「五・二五三里塚現地集会」への大結集

「5・17」「5・25」を起爆点
に断固たる闘いに突入しよう！

五・一支部代会議以降の取り組みと情勢は以上の通りである。

問題の核心点は、
第一に、当局の武装親衛隊に「本部」反動分子の動労千葉の八〇春闘に対する暴力スト破り襲撃とその破産↓当局への哀願。

第二に、これを利用した権力・当局の動労千葉への組織破壊攻撃に選別的な不当処分。

であり、権力・当局をして動労千葉への不当労働行為も辞さない組織破壊願望の本質は、われわれの「三里塚・ジェット」と「三十五万人体制粉碎」五五・一〇乗務員運用合理化・作業日動化粉碎を中心とする闘いへの階級的恐怖である。である以上、われわれの闘いの方向性もまた鮮明である。

すなわち、
第一に、不当処分粉碎、「津田沼特別班」解体・組織強化。
第二に、反合・三里塚ジェット闘争の爆発的高揚。

である。

五月総決起総行動で不当処分策動粉碎へ

5・25三里塚へ総力結集を！

正午 三里塚第一公園

(10時 成田運転区)